

# B&G全国指導者会 活動方針・活動目標(案)

2019年～2021年

活動  
方針

## 未来を担う子どもたちのために 地域にとどけよう 笑顔と元気

全国指導者会の会員は「未来を担う子どもたちのために 地域にとどけよう 笑顔と元気」を合言葉に、子どもたちの健全な成長と地域の発展に繋がる活動を実践する。常に会員は資質の向上と連携強化に努める。

### 全国指導者会 その先へ…

「誰もが集える海洋センター」「子どもの体験格差の解消」「自然災害等への備え」をはじめ、時代の流れによりB&G財団の事業も多様化している。「全国指導者会」も常に時代の流れを意識し、更なる資質の向上・連携強化を図りながら、「未来を担う子どもたちのために」成長を止めてはならない。

### 活動目標

#### 1 「自然体験活動」の実践

- 全海洋センターにおいて「水辺の安全教室」参加者等を地域の様々な自然フィールドに連れ出し、体験活動を年1回以上実施する。
- 子どもたちの成長に欠かせない自然体験活動に導くため、引き続き「水辺の安全教室」を年3回以上実施する。
- 艇庫・海洋クラブの活動をより積極的に推進する。

#### 2 地域指導者会の組織・活動の充実

- 「リーダー研修」の開催など、新規会員の獲得に努め、組織の充実を図る。
- 活動に必要な知識や技術を補うため、「お助け指導員」を有効に活用し、活動の充実を図る。

#### 3 会員の資質向上を図る研修会等の開催と自己研鑽

- 様々な活動に対応した「指導員研修会」等をブロック・道府県連絡協議会及び地域指導者会でそれぞれ1回以上開催する。
- 会員は「指導員研修会」等に年1回以上参加し、資質の向上と自己研鑽に努める。

#### 4 海洋センターの利用者増と地域の活性化

- 海洋センター等が実施する事業を積極的にサポートし、特に安全性の確保に注力する。
- 海洋センターの有効活用と新たな地域コミュニティの創出や活性化につながる活動に積極的に参画し、一人でも多くの利用者増に協力する。

#### 5 活動の情報発信

- 地域指導者会の活動情報を紙媒体やSNS等を活用して発信し、地域住民に周知を図る。

#### 6 災害時等における相互応援 新規追加

- 自然災害等により海洋センター所在市町村が被災した際は、可能な範囲で被災地域の復興に対する応援・協力をを行う。



「未来を担う子どもたちのために  
地域にとどけよう 笑顔と元気」

B&G Instructor's  
ZENSHIKAI

新ロゴマーク  
誕生!

## 第4回 B&G全国指導者会 総会

2019年2月16日(土) 東京都港区 笹川記念会館

総会 14:00～ 2階国際会議場

#### 1 開会

2 主催者挨拶 B&G財団 会長 前田 康吉  
B&G全国指導者会 会長 工藤 祐直

#### 3 全国指導者会 議案審議および諸報告

報告事項 3年間の事業報告

議案1 役員およびブロック責任者の選任について

議案2 今後の活動方針・活動目標(案)の承認について

#### 4 アトラクション

①「チアダンス」 慶應義塾大学 UNICORNS Songleaders

②ブロック対抗「大声選手権」

#### 5 「優良指導者会」「優良指導員」 褒賞授与

6 特別講演 為末 大 様 (世界陸上選手権メダリスト)

#### 7 感謝状授与

#### 8 閉会

交流会 17:15～ 4階会場

公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団  
B&G全国指導者会



公益財団法人  
ブルーシー・アンド・  
グリーンランド財団

会長 前田 康吉

B&G指導員の皆さまには、日頃から、海洋センター・海洋クラブにおいて、青少年の健全育成、地域住民の健康づくりをはじめとするB&G事業に多大なるご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、「B&G全国指導者会」工藤会長をはじめ、副会長、ブロック責任者、県責任者の皆さまには、当財団およびB&Gネットワークと連携した各種事業の推進、および地域指導者会活動の積極的な拡大にご尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。

“消滅可能性都市” “10年後になくなる職業” が話題となったように、技術革新や社会環境の変化、価値観の多様化にさらされる「変化の時代」にあって、日本の未来を担う人づくり、子どもたちへの教育が、今、国を挙げての課題となっています。

当財団は、“次代を担う青少年の心身の育成”を主たる目的に1973年に発足して以来、一貫して、人づくりを担うB&G指導員の皆さま、海洋センター・クラブ、地域の自治体・教育行政とともに、議論を深め、協調の輪を広げながら、実践活動を進めてまいりましたが、このほど、10年目を迎える「B&G全国指導者会」、および海洋センターでの100%設置を達成した「B&G地域指導者会」の皆さまこそ、これまで40年以上にわたる理解促進の結実であり、当財団の最も大きな財産、パートナーと考えております。

当財団も、より適切、柔軟に社会の求めるニーズや課題に対応するべく、新たな事業を拡大し、積極的な変革に努めております。これからも日本の社会の発展に貢献する諸活動を継続実施していくためには、B&G指導員の皆さまの、ご理解とご協力が極めて重要です。

節目となる本総会を通して、新たな今後10年の目標を共有いただくと共に、引き続いて財団事業へのご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



B&G全国指導者会 会長  
青森県南部町長

工藤 祐直

本日は「第4回B&G全国指導者会総会」の開催にあたり、全国からB&G指導員およびB&G地域指導者会の皆さまにご出席いただき、誠にありがとうございます。

“未来を担う子どもたちのために、自然体験活動と水辺の安全教育を推進し社会に貢献する”ため、全国から参加の600人以上のB&G指導員の賛同により「B&G全国指導者会」が設立されてから、早9年が経過しました。

過去、海洋センターや地域が主体であった各種の活動が、「自然体験活動の提供と水辺の安全教育の実践」という確かな共通意識のもと、ブロックや全国へと活動の規模を広げると同時に、大きな目標として掲げてきました「水辺の安全教室等の体験者10万人」の達成をはじめ、「日本一の海洋性レクリエーション指導員組織」の名に恥じない社会的意義のある活動を続けてこられたのは、ひとえに皆さまがたの日頃のご尽力の賜物と、心からの敬意を表す次第です。

さて、当会は設立10年目を迎える本総会を期に、これまでに築いてきた強固な組織とネットワーク、連携力を活かし、子どもたちの健全な成長と地域の発展に貢献するため、新たな挑戦としての活動目標を掲げて参ります。

会員の皆さまには、B&G全国指導者会の一員としての自覚と誇りのもとに、変わらぬ情熱をもって各種事業を積極的に推進していただくと同時に、地域での指導の担い手づくり、後進の方々へのノウハウ継承を含め、幅広く人材育成に注力いただければと思います。

今後とも、笑顔と元気を地域に届けるため、私たちB&G指導員一同力を合わせていきたいと思います。

## 2010年1月16日 B&G全国指導者会 設立

～ “未来を担う子どもたちのために” 日本一の海洋性レクリエーション指導員組織が誕生! ～

### 経緯

子どもの健全な成長に対する自然体験活動の重要性の認識が広まる同時に、「海洋基本法」の施行（2007年）、国が推進する「青少年体験活動総合プラン」などの取り組みが活発化してきた。

一方、海や水辺の自然環境に恵まれる中、日本の溺死者数はイギリスの約12倍、オランダの約9倍と高い水準であり、14歳以下の子どものについては、溺死・溺水による不慮の事故死が交通事故の次に高い要因となるなど、自然体験活動を行う上で、「自助意識を養う水辺の安全教育」の全国的な普及が急務であった。

### 準備

2009年、B&G全国指導者会の設立に向けて、全国10ブロックから選出されたB&G指導員等により「設立準備委員会」を設置。現代の社会や地域の求めに対し、B&G指導員が貢献可能なことを検討した結果、①B&G指導員は時代の求める専門性と高い指導力を備えること ②それぞれの地域のみならず、県・ブロック・全国に広がる強固なネットワークを持つこと ③それらの強みを活用し、今後より広く社会へと還元していくために、統一された目的・目標を持った強固な組織が必要となること 以上3点が確認され、準備委員の総意をもって、B&G全国指導者会の設立が決定された。

### 設立準備委員（敬称略）

北海道小平町 板垣 良二	北海道積丹町 丹場 康雄	宮城県登米市 千葉 桂志	群馬県明和町 金子 春江	埼玉県久喜市 川島 正光
千葉県鋸南町 鈴木 亜貴子	石川県七尾市 多田 朗	岐阜県八百津町 赤塚 誠	兵庫県上郡町 種継 武	山口県周防大島町 古崎 敏雄
徳島県阿南市 金久 博	福岡県みやこ町 進 友雄	熊本県湯前町 椎葉 泰裕	以上13名	

### 設立

2010年1月16日、B&G全国指導者会設立総会がB&G指導員604名の出席のもと開催。「B&G全国指導者会会員は、日本全国での自然体験活動と水辺の安全教育の更なる推進のため、会員全員が一致団結し、未来を担う青少年の健全育成に努める」との宣言のもと、大きな志をもつB&G指導員たちの第一歩が踏み出された。

### 設立趣旨

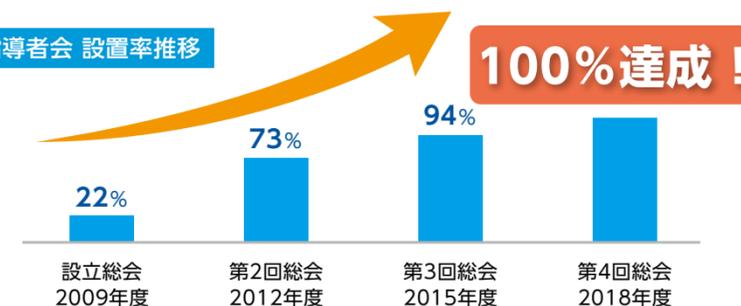
B&G海洋センター・海洋クラブの活動を通じた地域の活性化と、青少年の成長に重要な「自然体験活動」と自助意識を養う「水辺の安全教育」などの推進により、未来を担う子どもたちの健全育成に貢献する。

### 地域指導者会の設立拡大

「B&G全国指導者会」の設立趣旨を充実し全国へと展開していくために、各地域での積極的な活動・事業展開の重要性が増大した。

そのため、「B&G全国指導者会」の母体となる「地域指導者会」を各地域B&G海洋センターに組織化・設立することを大きな目標に据え、「100%設立」に向けて、海洋センター設置自治体の首長・教育長・責任者等への要請および設立支援を行った。

### 地域指導者会 設置率推移



2019年1月、休止中等を除く466カ所全ての海洋センターで地域指導者会設立を達成!!

# 10年のあゆみ(活動成果①)

## 「B&G水辺の安全教室」普及と地域実践活動の活性化

- 全国の子どもたちに対し、水辺の事故から身を守り、自助の意識を高める実践的教室「水辺の安全教室」を提供し、「全国の体験者数10万人」を目指した。
- 自然体験活動と水辺の安全教育の推進に向け地域の活動をより活発にし、地域指導者会や会員同士の横の連携強化を図った。

### 「B&G水辺の安全教室」の普及と実践

～子どもたちの成長に有用な水辺や自然での体験活動に向けて、安全知識と技能を普及～

B&G財団が策定した「B&G水辺の安全教室プログラム」に準拠し、「水辺の安全紙芝居」による啓発活動をはじめ、海洋センタープールや艇庫活動、地域の学校への出前教室などでの実技指導を全国で展開した。



ライフジャケット浮き

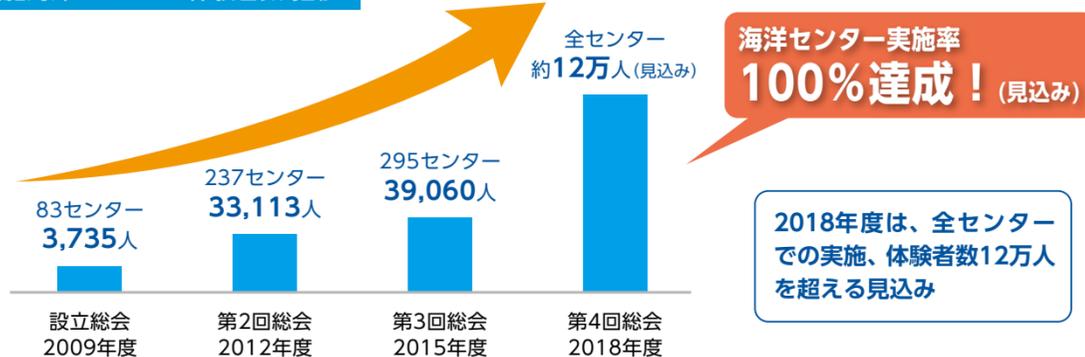


「浮き具」の利用法指導



ライフジャケット着用指導

### 実施海洋センター・体験者数 推移



## 自治体の枠を超えたB&G地域指導者会の連携活動

～指導員研修や海洋センター活動への支援、地域イベントへの協力など、広がる連携～

単独センターでの実施が難しい自然環境での体験活動や、体験格差解消などの新たな取り組みに対し、自治体や県の枠を超えて、複数の「B&G地域指導者会」での連携活動が始まっている。



カヌーツーリング



障害者へのカヌー指導



水辺の安全教室への協力

## B&G全国指導者会「お助け指導員制度」始まる(2018年度～)

～B&G指導員の知識や技術を有効活用し、海洋センターや指導者会活動の活動促進へ～

「B&G全国指導者会」を軸に、水辺の安全教室をはじめとする体験活動の定着や、地域指導者会、各県・ブロック内での海洋センターのネットワーク強化が進むと同時に、指導者不足等により事業の実施・拡大に困難を抱える海洋センター・地域指導者会の存在という課題が見えてきた。

そこで新たに、近隣のB&G指導員の協力による円滑な事業実施へとつなげるため、「お助け指導員制度」を開始した。

全ての海洋センターで基本的な事業が円滑に実施できるためのサポートとして、全国指導者会のネットワークを有効に活用しよう!



B&G全国指導者会 第1～3期 副会長  
埼玉県久喜市栗橋  
川島 正光

全国19,000名のB&G指導員のネットワークと力を集結する「B&G全国指導者会」その母体を成す地域指導者会。初期の目的、設置率100%は達成した。  
 今後は、地域指導者会の活動の充実が望まれる。  
 指導員個々の力は小さくても、一人ひとりが知恵を出し行動すること、地域指導者会の相互協力により融合することで、地域を超えた青少年の健全育成、子どもたちの「生きる力」を育むことが出来るものとする。  
 小さな波動が集まり、やがてそれが大きな波となり、社会を動かしていくように、今までの活動を継承しつつ、新たな事業にチャレンジし、さらなる飛躍を目指そう。  
 カモン 全指会 ビックウエーブ!!

# 10年のあゆみ(活動成果②)

## 自己研鑽に向けた研修充実と 全国ネットワークによる相互応援の定着

- B&G全国指導者会と、各ブロック連絡協議会、地域指導者会が連携し開催する「ブロック別指導員研修会」や、道府県連絡協議会の主催する研修会への参加を奨励し、指導員の自己研鑽を推進した。
- 東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨などの広域・甚大な災害が発生した際、B&G全国指導者会の広域ネットワークを速やかに活用し、被災地支援活動を行った。

### 「B&G全国指導者会」ブロック別指導員研修会の開催

～“地域と子どもたちのために” 指導員の成長を持続させる研修会を実施～

B&G指導員の資質向上を図るため、各海洋センター1名以上の参加を目標に、各ブロック連絡協議会とB&G全国指導者会の共催となる研修会を実施。2016年度からの3カ年は、熱中症対策などの救急対応、防災知識の習得やロープワーク実技などの他「障害者差別解消法」(2016年4月施行)に合わせ、全海洋センターが障害者の受け入れ可能となるよう、法の理解や実際の受け入れ態勢のほか、パラスポーツの魅力を学ぶ内容などを研修に取り入れた。



障害者向けスポーツの実践



ロールプレイングを通じた理解向上



2020に向けパラスポーツの魅力を学ぶ

研修テーマ	
2016年度	「障害者差別解消法」の理解や障害者の受け入れ対応について
2017年度	障害者に対する受け入れや指導の実践について
2018年度	パラスポーツをはじめとする障害者の競技スポーツの魅力について



### B&G指導員による被災地支援ボランティア活動

～全国に広がるネットワークと相互協力の精神で迅速な被災地支援を実現～

2016年4月に発生し熊本・大分両県に甚大な被害をもたらした地震に対し、全国から支援物資の提供をいただいたほか、4回のべ76センター126人が、がれき除去作業や支援物資の移送などの現地ボランティア活動に参加した。

ボランティア活動に係るB&G指導員の交通費等は、B&G全国サミット共同宣言「災害時における相互応援」に基づく全国からの支援金を活用させていただいた。

また2018年には、西日本豪雨に対する復興支援事業「がんばろう広島!B&G海遊び・マリンスポーツ体験」において、主に中国ブロックから15人のB&G指導員が参加し、ボランティア指導を行った。

#### 2016年度「がんばろう熊本!B&Gボランティア派遣」



支援物資の整理作業



支援物資の移送作業



被災民家の片付け支援

#### 2018年度「がんばろう広島!B&G海遊び・マリンスポーツ体験」



豪雨災害で被災した広島県呉市と坂町からの計132人の参加者に対し、マリンスポーツ体験を楽しんでいただいた。



B&G全国指導者会 第1～3期 副会長  
徳島県阿南市 金久 博

B&G全国指導者会は、2009年(平成21年)に設立準備活動をスタートして以来10年、全国の地域海洋センター活動をサポートするため、全国で397カ所「地域指導者会」を設置し、全国10ブロックで指導員の技術や新たな知識習得など資質向上のため「ブロック別指導員研修」を実施するとともに、ブロック連絡協議会・道府県連絡協議会との連携や指導者間のネットワーク充実を図って参りました。これら、組織の充実と指導員の協力体制構築によって、全国指導者会の基盤は確固たるものとなったと確信しています。

今、来るべき次の時代に向けて、これまで築いてきた土台を活用するとともに、全国の指導者が培ってきたノウハウを十分発揮し、“地域における組織の維持発展と、活動の継承、指導員の資質向上”を基本に、変化するニーズに応じた新たな活動を工夫のうえ、私たち指導者会会員が一丸となって、さらなる飛躍を目指していきましょう。

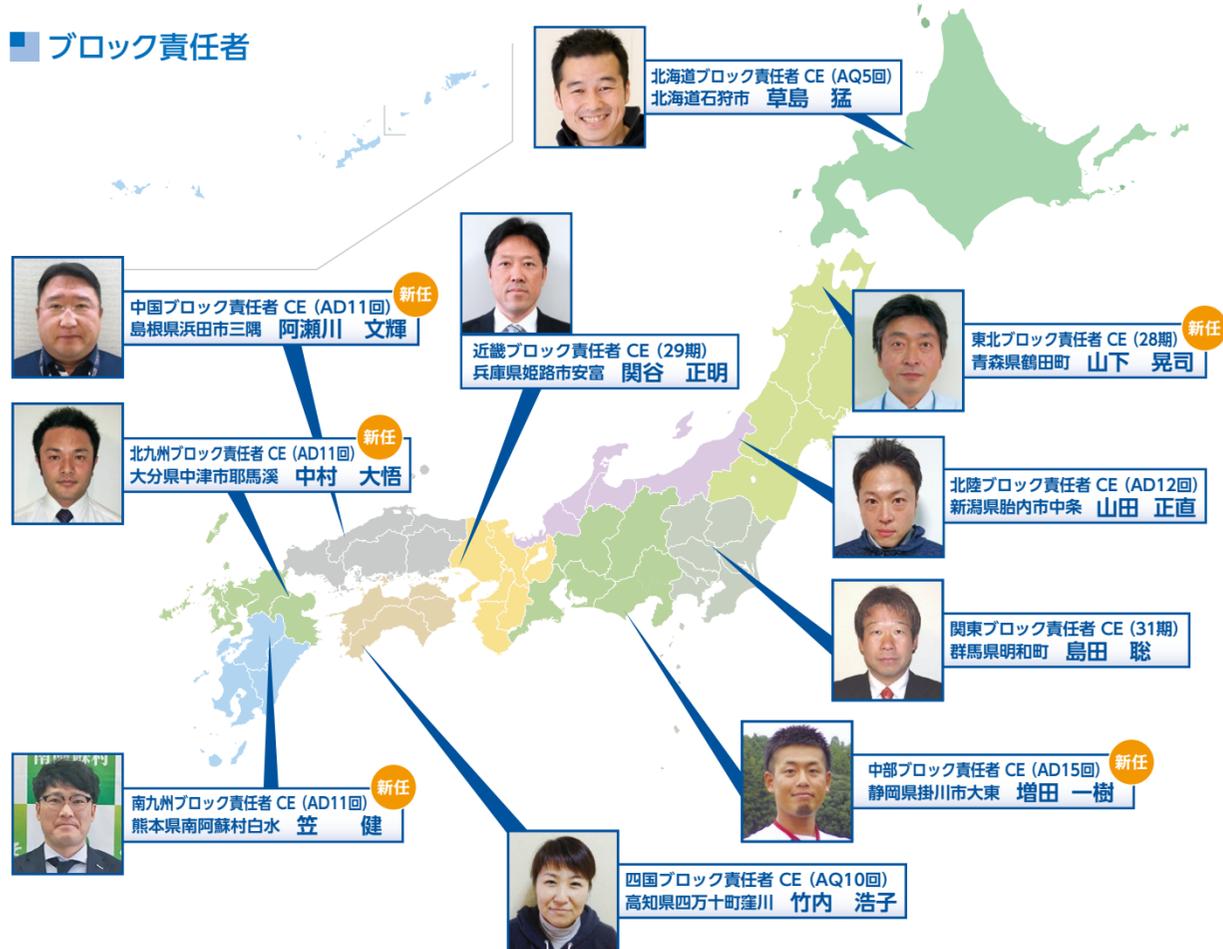
# 2019年～2021年 B&G全国指導者会 組織図・ブロック責任者

# 2019年～2021年 道府県責任者名簿

## 組織図・役員(案)



## ブロック責任者



## 道府県責任者

ブロック	道府県	氏名	所属センター	期・回・年度	ブロック	道府県	氏名	所属センター	期・回・年度	
北海道	北海道	草島 猛	石狩市	CE (AQ5回)	近畿	滋賀県	北川 友貴	多賀町	CE (1回)	
		丹場 康雄	横丹町	CE (AQ5回)			桑間 隆行	高島市高島	LE (2018年度)	
		鈴木 博之	滝川市	CE (AD11回)		京都府	馬場 正実	和束町	CE (12期)	
青森県	青森県	山下 晃司	鶴田町	CE (28期)		堀 裕輔	京丹波町和知	CE (1989年度)		
		佐藤 一也	六戸町	LE (2009年度)		大阪府	千福 隆久	千早赤阪村	CE (23期)	
		古川 純一	五所川原市金木	LE (2005年度)		兵庫県	関谷 正明	姫路市家島・安富	CE (9期)	
岩手県	岩手県	大久保 憲仁	洋野町種市	CE (31期)		種 継 武	上郡町	CE (16期)		
		角 悦 晶	久慈市山形	CE (AQ8回)		橋本 忠明	豊岡市竹野	CE (20期)		
		丹野 浩伸	川崎町	CE (AQ11回)		奈良県	※大阪府と合同			
宮城県	宮城県	青木 崇	松島町	CE (2回)		和歌山県	太田 陽介	串本町	CE (AQ9回)	
		小笠原 光	能代市	AD (17回)	伊藤 俊文	串本町	担当			
		柳 橋 泰雅	由利本荘市西目	CE (2回)	中国	鳥取県	西尾 浩	鳥取市	CE (AD4回)	
山形県	長谷部 勝	酒田市平田	CE (22期)	山根 雄一			北栄町北条	AD (18回)		
福島県	福島県	松本 正人	舟形町	CE (1993年度)		島根県	阿瀬川 文輝	浜田市三隅	CE (AQ11回)	
		大友 拓	塙町	CE (2回)		曾田 宏一	出雲市平田	CE (27期)		
		丹羽 敏之	本宮市白沢	CE (AQ9回)		森脇 輝清	江津市桜江	CE (31期)		
茨城県	茨城県	山口 英樹	かすみがうら市千代田	CE (38期)		岡山県	神谷 園実	鏡野町	CE (AQ11回)	
		小室 圭吾	北茨城市	AQ (18回)		中田 利夫	瀬戸内市邑久	AD (18回)		
		木村 貴虎	芳賀町	CE (AQ12回)		広島県	大越 利夫	府中市	CE (AD2回)	
栃木県	栃木県	西山 慶崇	那須塩原市塩原	CE (1回)		深水 真司	東広島市黒瀬	CE (AD12回)		
		島田 聡	明和町	CE (31期)		古崎 敏雄	周防大島町	CE (25期)		
		和田 光彰	玉村町	CE (AQ8回)	吉松 克巳	萩市むつみ	LE (2018年度)			
群馬県	群馬県	飛鳥馬 昇	松伏町	CE (24期・AQ1989年度)	山口県	徳島県	日下 和穂	那賀町篤敷	CE (AD12回)	
		長峰 一雄	吉見町	CE (37期)			浦生 悠太	美波町由岐	AQ (18回)	
		伊藤 泰成	横芝光町横芝	CE (1回)		三好 涼夏	三豊市財田	CE (2回)		
埼玉県	埼玉県	鶴沢 希	いすみ市岬	CE (1回)		香川県	佐倉 亮	B&G 池田海洋クラブ	AD (17回)	
		山田 正直	胎内市中条	CE (AD12回)		江戸 里美	三木町	AD (18回)		
		渡辺 由子	上越市頸城	CE (1989年度)		愛媛県	小池 正紀	今治市吉海	CE (29期)	
新潟県	新潟県	宮下 祐樹	糸魚川市能生	担当		楠目 匠	鬼北町広見	CE (AQ15回)		
		大村 貴則	南砺市福岡	CE (AD8回)		高知県	竹内 浩子	四万十町窪川	CE (AQ10回)	
		林 由紀夫	水見市	担当		高橋 智哉	津野町東津野	AQ (18回)		
富山県	富山県	岩本 榮三郎	七尾市	CE (36期)		福岡県	福岡県	古賀 博隆	朝倉市甘木	CE (AQ1998年度・AD3回)
		中田 洋満	白山市鶴来	CE (AQ2回)	相原 剛志			福智町金田	CE (29期)	
		加藤 条太郎	越前町朝日	AQ (18回)	佐賀県		松尾 昭典	神埼市	CE (AD1回)	
石川県	石川県	宮谷 友基	あわら市金津	AQ (18回)	百武 光司		江北町	CE (39期)		
		橋本 篤幸	南アルプス市白根	CE (AD10回)	和泉 雅之		時津町	CE (33期)		
		関口 雄二	甲州市塩山	CE (AQ10回)	村川 安亨		平戸市生月	CE (35期)		
福井県	福井県	荊尾 愛	松本市四賀	CE (AQ11回)	大分県		大分県	中村 大悟	中津市耶馬溪	CE (AQ11回)
		大平 正章	阿南町	CE (1994年度)				松田 尚也	竹田市直入	AD (17回)
		市川 幸太	恵那市明智	CE (AD11回)				谷口 正宏	国東市国見	CE (19期)
長野県	長野県	鎌田 勇三	高山市清見	CE (AQ8回)	北九州		長崎県	笠 健	南阿蘇村白水	CE (AD11回)
		増田 一樹	掛川市大東	CE (AD15回)		西 秀隆		玉名市岱明	CE (35期)	
		増田 智彦	袋井市	AQ17回		岳 静香	長洲町	AD (16回)		
岐阜県	岐阜県	中村 裕好	川根本町本川根	LE (1988年度)		宮崎県	宮崎県	中村 文聡	日南市南郷	CE (1回)
		高須 伸一	西尾市一色	CE (AQ1987年度)				池田 剛	与論町	CE (AD11回)
		原田 経美	東栄町	CE (27期)				片野 由美子	日置市東市来	CE (AQ13回)
静岡県	静岡県	前村 将人	伊勢市御園	CE (2回)		鹿児島県	鹿児島県	神谷 秀正	うるま市勝連	CE (AQ13回)
		浅野 智彦	桑名市長島	CE (AQ4回)				大平 淳一	名護市	CE (AQ9回)
		愛知県	愛知県	前村 将人		伊勢市御園	CE (2回)	沖縄県	沖縄県	神谷 秀正
浅野 智彦	桑名市長島			CE (AQ4回)		大平 淳一	名護市			CE (AQ9回)

# 指導者会褒賞

## ■ B&G海洋性レクリエーション指導者会褒賞要領

第2条 B&G指導者会の活動が、次の各号の一に該当したときは、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団はこれを褒賞する。

- (1) 青少年の健全育成、住民の健康増進等に著しく貢献したとき。
- (2) B&G指導者会の運営が他の指導者会の模範となると認められたとき。
- (3) B&G指導者会の活動が広く社会的に周知されたとき。
- (4) その他特に優れた活動等と認められたとき。

### 青森県 B&G鶴田海洋クラブ指導者会

2007年度登録

会員数：16人

代表者：渋谷 秀明

#### 〈主な活動〉

B&G鶴田海洋クラブの設立と共に結成し、今年で38年目を迎える。クラブ員への指導のほか、学校授業への協力、学校プールを利用した海レク教室、海でのキャンプなど幅広い活動を行ってきた。

2013年には水泳クラブの形で活動の場を広げ、競泳指導にも力を注いでいる。



### 和歌山県 串本町B&G海洋センター指導者会

2006年度登録

会員数：6人

代表者：伊藤 俊文

#### 〈主な活動〉

海洋センター施設への利用者受け入れだけでなく、当指導者会では町内の小学校7校への出前水泳教室を行っている。2018年度は35日間でのべ1331人への指導を行い、景勝地「潮岬」を擁する“本州最南端の町”の子どもたちすべてが安全に水に親しめるよう活動している。



### 群馬県 明和町B&G海洋センター指導者会

2009年度登録

会員数：15人

代表者：島田 聡

#### 〈主な活動〉

温水プール施設として、会員となる職員15人全員がB&G資格を取得し安全管理に配慮している。夜間を利用しプールでのカヌー教室（小中学生／一般）を実施、技能検定合格者を連れた「利根川カヌーツーリング」は毎年の恒例行事となった。

埼玉県内、栃木県内の指導者会と協力し、指導員の研修、町のイベント協力、指導員の相互派遣など、幅広く活動を行っている。



### 熊本県 湯前町B&G海洋センター指導者会

2009年度登録

会員数：40人

代表者：中園 誠二

#### 〈主な活動〉

結成から10年。毎年会員を公募し、海洋センター関係職員のみならず、地域事業所やグリーンツーリズム、観光関係、地域おこし協力隊、消防署員など、幅広くメンバー層を拡大し続けている。

海洋性レクリエーション普及のための研修会開催をはじめ、地域住民向け体験会、学校行事の受け入れなどを継続的に行っており、近年ではSUP（スタンドアップパドルボード）を導入し、地域資源を活かした地域に密着した活動を、年間約20日実施している。



### 富山県 B&G砺波海洋クラブ指導者会

2006年度登録

会員数：49人

代表者：川岸 勇

#### 〈主な活動〉

砺波市B&G海洋センター建設と共に34年、多くの会員で力を合わせ、海洋性レクリエーション活動の提供や水辺の安全を継続的に指導・提供してきた。

海の日に合わせて実施の「B&Gマリーナフェスティバル」は2018年度に第30回を迎えた。

水上部門だけでなく陸上部門も取りそろえ、幼児から大人まで例年500人以上の参加者を楽しませている。



(順不同)

# 指導員褒賞



## 鈴木 博之

北海道  
滝川市B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(第11回AD)



## 松本 純

千葉県  
南房総市千倉B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(31期AD・AQ)



## 河合 茂人

愛知県  
新城市作手B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(第3回AD)



## 三浦 英則

岡山県  
瀬戸内市邑久B&G海洋センター  
インストラクター  
(1991年度IN)



## 古市 照雄

福岡県  
築上町椎田B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(34期AD・AQ)



## 占部 雄三

福岡県  
B&G津屋崎海洋クラブ  
インストラクター  
(1991年度IN)



## 上田 隆昭

青森県  
南部町名川B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(第2回AQ)



## 渡邊 由子

新潟県  
上越市頸城B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(1988年度AQ)



## 種継 武

兵庫県  
上郡町B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(16期AD・AQ)



## 青木 芳幸

徳島県  
阿南市B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(12期AD・AQ)



## 笠 健

熊本県  
南阿蘇村白水B&G海洋センター  
センター・インストラクター  
(第11回AD)



### ■ B&G海洋性レクリエーション指導員褒賞規程

第2条 B&G海洋性レクリエーション指導員がつぎの各号の一に該当するに至ったときは、財団はこれ褒賞する。

- (1) 責任観念に徹し、率先業務に励み、指導実績・素行共に他の模範となると認められたとき。
- (2) 実践的海事思想の普及に著しく貢献したとき。
- (3) 青少年の健全育成に著しく貢献したとき。
- (4) その他B&G海洋性レクリエーション指導員として特に褒賞するに価すると認められたとき。

氏名	ブロック	道府県	センター・クラブ名
林 勝 義	北海道	北海道	大樹町 B & G 海洋センター
高 橋 大 輔	東北	岩手県	陸前高田市 B & G 海洋センター
滝 童 内 政 美	関東	栃木県	那須烏山市南那須 B & G 海洋センター
松 田 喜 和		埼玉県	久喜市栗橋 B & G 海洋センター
橋 本 篤 幸	中部	山梨県	南アルプス市白根 B & G 海洋センター
土 屋 義 喜		静岡県	松崎町 B & G 海洋センター
小 巻 克 次	近畿	兵庫県	B & G 伊丹海洋クラブ
中 村 和 哉		和歌山県	B & G 和歌浦海洋クラブ
持 田 典 子	中国	島根県	松江市宍道 B & G 海洋センター
荒 川 辰 也		鳥取県	北栄町北条 B & G 海洋センター
小 松 正 幸	四国	香川県	B & G 三木海洋クラブ
中 村 大 悟	北九州	大分県	中津市耶馬溪 B & G 海洋センター
坂 口 喜 作	南九州	鹿児島県	B & G 鹿屋海洋クラブ



### B&G全国指導者会「会長賞」の受賞団体をご紹介します!!



#### ■ 2016年度 (H28年度)

ブロック	道府県	指導者会名	ブロック	道府県	指導者会名
北海道	北海道	B&G 瀬棚海洋クラブ指導者会	近 畿	大阪府	堺市美原 B&G 海洋センター指導者会
東 北	岩手県	洋野町種市 B&G 海洋センター指導者会	中 国	広島県	坂町 B&G 海洋センター指導者会
関 東	千葉県	いすみ市海洋性レクリエーション指導者会	四 国	香川県	小豆島町内海 B&G 海洋センター指導者会
北 陸	石川県	七尾市 B&G 海洋センター指導者会	北九州	福岡県	柳川市 B&G 指導者会
中 部	静岡県	掛川市 B&G 指導者会	南九州	鹿児島県	南さつま市坊津 B&G 海洋センター指導者会

#### ■ 2017年度 (H29年度)

ブロック	道府県	指導者会名	ブロック	道府県	指導者会名
北海道	北海道	小平町 B&G 海洋センター指導者会	近 畿	奈良県	山添村 B & G 指導者会
東 北	山形県	酒田市平田 B&G 海洋センター育成士会	中 国	岡山県	美作市作東 B&G 海洋センター指導者会
関 東	茨城県	五霞町 B&G 指導者会	四 国	愛媛県	中島 B&G 海洋センター指導者会
北 陸	富山県	富山市 B & G 指導者会	北九州	福岡県	築上町 B&G 海洋センター指導者会
中 部	三重県	菟野町 B&G 育成士会	南九州	熊本県	菊池市 B&G 海洋センター指導者会

# 刷新! B&G指導員養成研修

# 次の10年にむけて

## ■「センター・インストラクター養成研修」がスタート

～常勤指導員資格を完全一本化し、海レク指導もプール指導も可能なマルチな指導員を養成!～

●2017年度から、沖縄県本部町でB&G財団が開催するB&G指導員養成研修が「センター・インストラクター養成研修」となった。

従来の、海洋性スポーツ指導／プール指導の枠を取り払い、地元のB&G施設類型にとらわれず、指導者会の連携活動も視野に入れた幅の広い実技指導を習得するとともに、時代の変化にあわせ多機能化、複合利用が求められる海洋センター施設の更なる活用の原動力となることが期待されている。

### B&G指導員制度（常勤指導員資格）の推移

	1975～1998年		1999～2016年	2018年～
体育館・艇庫の指導員	センター育成士		アドバンスト・インストラクター (AD)	センター・インストラクター (CE)
プールの指導員		特殊育成士	アクア・インストラクター (AQ)	
養成人数	3,756人			166人



B&G財団事務局  
坂倉 一寿

### 先輩・現役指導員の皆さま

海洋センター事業・教室等の担い手を育て、皆さまの知見・技能の円滑な継承が行われるよう、後進の育成と養成研修への派遣を、地元にご伝えていただくようよろしくお願い申し上げます!!

B&G全国指導者会は設立から10年目を迎え、この度、念願であった「地域指導者会」が全海洋センターに設置されました。

これにより、私たちが目指していた「水辺の安全教育」と、「自然体験の実践」を子どもたちに提供できる指導体制、安全管理体制など、言い換えれば全国指導者会の「基盤」が全国に整いました。

今後は、この活動の基盤となる地域指導者会の活性化と、会員間の連携を強化し、海洋性レクリエーションなどの自然体験活動を通じて子どもたちの心と身体を鍛え、また、多機能化する海洋センターの活動を支え、明るい地域づくりの実現に向けて足並みを揃えて進んでいきましょう。

さて、「第4回B&G指導者会総会」において、2019年度から3年間の新たな活動方針と活動目標を定めました。

その中でも特に、私たち指導員は自己研鑽を怠ってはなりません。それは指導技術や知識、安全管理法など日々進化しているからです。

その進化に取り残されないよう、ブロック連絡協議会や道府県連絡協議会が開催する研修会などに積極的に参加し、スキルの向上と指導者間のネットワークを強固にしていきたいと思います。

この先の10年に向けて、これまでに培ってきた実践するための基盤と、全国のネットワークをフルに活用して、引き続き“未来を担う子どもたちのために”皆さまと一緒に汗をかいていきましょう。

これからが「スタート」です。どうぞよろしくお願いいたします。

2019年2月16日

B&G全国指導者会 役員・ブロック責任者 一同